



特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ

2012年度社員総会

1. 2011年度事業報告	1
2. 2011年度決算報告	9
3. 2012年度事業計画(案)	14
4. 2012年度予算(案)	19
5. その他	22

日時：2012年6月10日(日) 15時～

場所：浦和スポーツクラブ・クラブハウス

1. 2011 年度事業報告：採決事項①

月	会議等	事業・プログラム関連
4	10 広場プロジェクト会議(2) 23 正副理事長会議 24 駒場 J V 会議	■ U18 日本クラブユース選手権関東予選大会参加 22 県土地水政策課訪問 28 ニュース vol. 123 発行
5	08 第 1 回理事会 14 正副理事長会議 22 テニス部門運営会議 28 広場 P J 会議(3) 29 駒場 J V 会議	■ U18 埼玉県リーグ参加 (SS2B) 28 ニュース vol. 124 発行
6	04 第 2 回理事会 12 2011 年度総会 子どものスポーツ支援プロジェクト参加決定 26 広場 P J 会議(4)	15 水分補給講習会 (U15、U18) 22 文科省拠点クラブに選定される ■ プロジェクトリーダーに小川氏が就任 28 ニュース vol. 125 発行
7	06 市多目的広場管理運営協議会出席 17 キッズテニス実行委員会 24 第 3 回理事会 広場 PJ 会議(5) 27 さいたま市地域 SC 推進委員会出席	04, 11 サッカ～広場水分補給講習会 17 さいたま市内地域 S C 交流会 (浦スポ主幹) ■ サッカー U18 関東クラブユースリーグ戦に参加 28 ニュース vol. 126 発行
8	21 広場 PJ 会議(6) ～ 見沼たんぼ署名活動 ～	18～19 工作教室 22～24 逆上がり教室 27～28 サッカー部門菅平合宿 28 ニュース vol. 127 発行
9	03 第 4 回理事会 17 スポコミプロジェクト会議 24 スポコミ事業 コーディネーター研修会 25 広場 PJ 会議(7) 29 地域 SC 勉強会企画会議(1)	■ 子どものスポーツ支援 8 月分 58,544 円 ■ 厚生労働省「実践的な予防活動支援事業」採択 ■ さいたま市に「児童相談所跡地活用に関する要望書」提出 28 ニュース vol. 128 発行 橋口氏退任
10	04, 10 地域 SC 勉強会企画会議(2) (3) 09 キッズテニス実行委員会 16 キッズテニス実行委員会 23 広場 PJ 会議(8) 26 市多目的広場管理運営協議会出席	■ 子どものスポーツ支援 9 月分 127,911 円 ■ 中上氏入社 12～シニア運動教室第 1 期 始まる 16 U15、U18 保護者説明会 22 福島県大玉村「さくらスポーツフェスタ」に参加 28 ニュース vol. 129 発行 30 第 5 回キッズテニス大会
11	03 第 5 回理事会 04, 20 地域 SC 勉強会企画会議(4) (5) 06 キッズテニス実行委員会	■ 子どものスポーツ支援 10 月分 112,410 円 ■ サッカー選手コース昇格戦勝利！ 2 部へ復帰 25 「第 1 回 地域スポーツ環境改善勉強会」開催 28 ニュース vol. 130 発行 ■ 青木氏退任
12	04 広場 PJ 会議(9) 04, 11, 25 地域 SC 企画会議(6) (7) (8) 17 元気アップネットワーク会議準備会 (スマイルハウス) 25 勉強会準備会議	■ 子どものスポーツ支援 11 月分 109,600 円 ■ キッズテニス全国大会に中尾テニスから 3 名が出場 01 福岡県クラブ育成アドバイザー内田氏来訪 ■ 鹿児島 SCC 太田氏、宮崎さどわら SC 井上氏来訪 11 東京都広域 S C クラブマネージャー講習会が視察に 28 ニュース vol. 131 発行

月	会議等	事業・プログラム関連
1	07 第6回理事会 08 地域SC勉強会企画会議(9) 14 埼玉県地域SC連絡協議会出席 15 地域SC勉強会企画会議(10) 18 スポコミ事業受託クラブ交流会 31 市地域SC推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 12月分 107,800円 12 埼玉県に「スポーツ広場に関する要望書」提出 18 ノルディックウォーク教室開始(全8回) 20 さいたま市に「スポーツ広場に関する要望書」提出 22 スポーツカウンセルゲイン山田氏、滋賀県クラブ育成アドバイザー河北さんが来訪 24 「第2回 地域スポーツ環境改善勉強会」開催 28 ニュース vol.132 発行
2	04 浦和東部元気アップネットワーク会議開催(南筈公民館) 05 地域SC勉強会企画会議(11)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 1月分 103,000円 19 ふあいぶるクラブ テニス交流会参加 優勝! 28 ニュース vol.133 発行
3	03 テニス部門運営会議 04 第7回理事会 04 地域SC勉強会企画会議(12) 08 文科省スポコミ事業報告会 08 受託クラブ交流会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 2月分 104,800円 ■ 生涯、選手 2012年度さいたま市民リーグ ■ Gシニア 2012年度北部リーグ 11 親子キャッチボール教室開催 18 地域スポーツシンポジウム「市民×行政×企業×学校」 22 U18 彩の国カップ vs 大宮アルディージャ U18 28 ニュース vol.134 発行
4	01 フェスタ実行委員会 06 本太中野口校長訪問 22 第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どものスポーツ支援 2月分 106,400円 ■ U18 日本クラブユース選手権関東予選大会参加 28 ニュース vol.135 発行
5	20 きた!Urawa フェスタ 2012 26 埼玉県地域SC連絡協議会出席 30 市総合型地域SC推進委員会出席	<ul style="list-style-type: none"> ■ U18 埼玉県リーグ参加(SS2B) 28 ニュース vol.136 発行 ■ 川下氏退職

(総論)

2011年度は、次のような特徴的なできごとがありました。

- 文科省スポーツコミュニティ形成促進事業
- 厚労省事業「実践的な予防事業」の実施と元気アップネットワーク会議の開催
- 見沼たんぼ・広場プロジェクト
- 子どものスポーツ支援プロジェクトおよび「さくらスポーツフェスタ」(大玉村)への参加
- サッカー指導者(青木氏)の退任

東日本大震災は、日本の社会にいろいろな変化をもたらしました。

節電やエコの意識が高まったのは言うまでもありませんが、多くの人々が「自分にできることで復興(支援)に貢献していきたい」と話されています。これまで「日本人に寄付・ボランティアの文化(精神)は育たない(定着しない)」と言われてきましたが、多くの人々がボランティアや寄付に参加したり、人との“絆”の大切さを口にするさようになりました。

スポーツ界においても、多くのスポーツ選手が被災地での支援活動に力を入れるようになり、1年経った現在でも、様々な活動が展開されています。

浦和スポーツクラブでも「子どものスポーツ支援プロジェクト」への参加し、大玉村で行われた「さくらスポーツフェスタ」などにも参加してきました。

今後も、このような活動を継続しながら、1000人を超える会員の力を活かすとともに、つながりを強めていければ良いと思います

□文部科学省スポーツコミュニティ形成促進事業

この事業は、

- ・地域住民が行政に依存するのではなく、主体的に学校の体育活動も含めた地域のスポーツ環境の形成を図り、スポーツを通して地域の課題（子育て等）の解決に資する取組を促進することが必要である
- ・小学校においては、学校の小規模化や教員の高齢化等により、体育の授業において児童に手本を見せるのが難しい場合があり、民間人の活用を含めた地域での教育支援体制の強化が必要である

ことなどから、拠点となる総合型クラブ（拠点クラブ）に配置されたスポーツ人材を活用し、スポーツを通じて新しい公共を担うコミュニティ（スポーツコミュニティ）の形成を促進することを目的としたものです。

浦スポでは、トップアスリート派遣では卓球の斉藤清さん、学校体育活動コーディネーターでは埼玉大学と連携し事業を実施してきました。

また、地域課題解決として、市内の地域スポーツクラブと協力して勉強会を開催しました。

2012年度も受託が決定しており、すでに一部の事業が始まっています。これを機会に、地域スポーツクラブのみならず、多様な主体と連携することで活動のステップアップにつなげていきたいと思いをします。

□厚労省事業「実践的な予防事業」の実施と元気アップネットワーク会議の開催

5月に公募があり企画提案を提出、採択決定が9月になったことから、事業全体のスケジュールが厳しくなりましたが、森コーチの協力もあり、第1期 10～12月、第2期1～3月と無事に貯筋運動教室を開催できました。この教室の開催をとおして、地元自治会との連携が強まりました。

この貯筋教室がきっかけとなり、以前から協力関係にあった包括支援センタースマイルハウスさんとともに、「元気アップネットワーク」を開催するにいたり、自治連をはじめとした地域の団体と一緒することができるようになりました。

さらに、自治会との情報交流が円滑になることで、本太中学校の空き教室利用の話がじょじょに進むなどの効果も表れてきました。

今後もシニア向けの各種事業をとおして自治会等との協力関係を保ち、地域内でのクラブのポジションを高めていきたいと思いをします。

□見沼田んぼ・広場プロジェクト

クラブの活動場所の確保、遊休施設等の有効活用を図ることを目指して、勉強会や署名活動、要望書提出などの活動を行ってきました。

これまで、クラブでは行政に対して要望をするようなことは行ってきていませんでしたが、昨年度は二つの要望書を提出しました。

「泉南児童相談所跡の利活用・「街の元気ステーション」に関する要望書」

「見沼田んぼ公有地の有効利活用について・「緑のスポーツ広場」に関する要望書」

の二つを、それぞれ県や市に提出しています。

特に、緑のスポーツ広場に関する要望書には、約1400名分の署名を付けて提出したものです。

いずれも、クラブの益だけを求めたものではなく、市民のために広く益をもたらすものであり、地域にとって価値のある提案をしています。今後も、これらのプランの実現にむけて地道に取り組んでいくことが必要です。

□子どものスポーツ支援プロジェクトおよび「さくらスポーツフェスタ」への参加等

クラブネッツが主幹して全国の地域スポーツクラブに呼び掛けた「子どものスポーツ支援プロジェクト」に参加し、8月から、参加を希望しない会員をのぞき、100円/世帯・月を集めプロジェクトに送金してきています。

毎月、ほぼ10万円を集めこれまでにおよそ100万円をプロジェクトに送金してきました。

また、その一環として、福島県大玉村に避難してきている富岡町のさくらスポーツクラブが主催する「さくらスポーツフェスタ」にクラブから20数名で参加しました。特に三室小・キッズテニスから6家族が参加、子ど

もが少ない会場に置いて元気な笑いを提供する役を果たしました。

被災地では、まだかれきの片付いていないところも少なくありません。

子ども達は、校庭やグラウンドを失い、スポーツもままにならない環境にいる子ども達も少なくありません。

スポーツがらつうに出来るありがたさに感謝しながら、自分達にできる形で被災地の支援を続けていきたいと思ひます。

□サッカー指導者（青木氏）の交退任

クラブ発足直後から主にサッカー生涯コースをご指導くださっていた青木氏が11月に退任されました。

2010年度の200万の赤字収支から立て直しプラスに転じることができましたが、totoからの助成金（2011年度で約600万）があつてのことであり、2012年度中で5年間の助成期間が終つてを考えると、さらなる対応を図っていくことが求められます。

このように財政的には厳しい状況ですが、文科省の拠点クラブ事業や厚労省の事業の受託をとおして、地域での新たな取り組みを進める役割も担い、成果をあげてきました。

クラブ単独ではなしえないことでも、地域の様々な組織と連携することで実現できることがあることを実感したのが2011年度でした。

(年度当初事業計画と成果)

2011年度当初事業計画	成果
<p>(1) 多目的広場の実現 公共や民間の遊休地等を対象として、クラブが管理運営するスポーツもできる広場の実現にむけて活動します。</p>	<p>△県・市に1400名の署名付きの要望書を提出したが、実現の目途はたっていない</p>
<p>(2) 被災地のクラブの仲間への継続的支援 地域スポーツクラブの仲間を支援し続けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援金や支援物資の調達 ・ クラブ間の交流事業 	<p>○子どものスポーツ支援プロジェクトに参加した。 ○支援物資を塩竈FCに届けた △大玉村で開催された「さくらスポーツフェスタ」(富岡町さくらSC主催)に参加した。その後の継続的交流はできていない。</p>
<p>2. 既存活動の充実、発展を図る (1) クラブメンバーシップをはぐくむ ① 会員による会員のためのクラブ ・ 指導者もプレイヤーも、応援者もみんながクラブの会員として、クラブで活動していく組織としていきます。 ・ 家族で参加しやすいクラブとなることを目指します。 ② 交流事業の実施 ・ 種目の壁を越えて交流できる事業を実施します。 ・ 今年度は、ソフトボール大会等を実施します。</p>	<p>● 組織制度の見直しは未着手である ● 未実施</p>
<p>(2) サッカー ・ 広場の会員増加とプログラムの充実をはかります ・ U15、U18の活動形態、運営体制について検討し、安定して継続できる活動にしていきます。 ・ 選手は、市民リーグ2部に昇格を目指します ・ 生涯クラスの仲間を増やします。特に、親子でクラブに参加する会員の増加を図ります。 ・ スーパーシニア広場は継続して活動していきます</p>	<p>△広場の会員数の増加ははかれなかった ●ユースは指導スタッフが不足している ○U15の会員は増加した ○選手は2部に昇格し ●生涯会員数は増加していない ●会員数が半減した</p>
<p>(2) テニス ・ テニス会員の増加を目指します。 ・ 多目的広場の管理者になり優先的に使用できるテニスコートを確保します。 ・ 市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加します。 ・ 駒場体育館の自主事業等参加者に活動の継続を呼びかけ、ウラスポプログラムへの参加を増やします。</p>	<p>○大人テニスの会員が微増した。 ●多目的広場プロジェクトは特に進展なし ○市民大会への参加者は徐々に増えている。 ○体育館自主事業から、定期プログラムへの継続移動は大人テニス部門で成果があった。</p>
<p>(3) フィットネス ・ 会員の増加、確保を図ります。 ・ シニア向け筋カトレーニングのプログラム化をはかります。 ・ のびのびスポーツ広場の会員増加をはかるとともに、高学年の充実も図ります。</p>	<p>△既存プログラムの会員数はあまり増やせていない ○筋トレプログラムができた ○高学年クラスに残る子が増えた</p>
<p>(4) その他 ・ シニア向け、子ども向けのプログラムの充実を図ります。 ・ 卓球、バドミントンのクラスの新設を図ります(星空スポーツ広場からの一部定例化) ・ 浦和スポーツ塾を定期開催します ・ 様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます</p>	<p>○貯筋プログラムができた ●卓球クラスの新設はできず ●スポーツ塾(外部向け)未開催 ●まだできていない</p>
<p>3. 地域のスポーツ振興に取り組む (1) キッズテニス大会 in SAITAMAの開催</p>	<p>○第5回キッズテニス大会を開催した</p>

<p>(2) 地域との連携強化をはかり、高齢者や子供向けのプログラムの充実をはかる</p> <p>① 駒場体育館の指定管理を活用し、各種プログラムを提案、企画、実施していきます</p> <p>② 地域部会を開催し、地域と連携した事業展開を図ります</p> <p>③ 星空スポーツ広場の充実に継続して取り組むとともに、参加者のクラブへの理解を進めます</p> <p>④ バスケットボールや新体操など、新たな種目への拡大にも努めます。</p> <p>⑤ 文部科学省のスポーツコミュニティ形成事業の受託を目指し、地域の学校やクラブと連携して子どもたちを育てる拠点的なクラブとなるよう努めます</p>	<p>● 指定管理の定期的な会議開催ができていない</p> <p>○ 元気アップネットワーク会議が設立した</p> <p>○ 地域で高齢者向けアンケートを行えた</p> <p>△ 継続して実施できたが、怪我等もあった。</p> <p>● 新たな種目は展開できなかった</p> <p>○ 受託して、各種事業を展開した</p>
--	---

【サッカー】

(サッカー/普及: 広場)

- ✓ 11年度も大塚製薬さんの協力により、水分補給講習会を実施した
- ✓ 高学年の人数は増加したが、低学年の人数が増えなかった

(サッカー/育成)

- ✓ スタッフが安定しなかった
- ✓ U15が増加し、大会参加できるまでになった
- ✓ 選手コースは2部昇格を果たした

(サッカー/振興(生涯スポーツ))

- ✓ 生涯コースは、青木コーチ退任後、自主運営として活動を継続している
- ✓ スーパーシニアは青木コーチの退任を受けて、会員が半減した

【テニス】

(テニス/キッズ)

- ✓ キッズテニス大会の第5回を開催した

(テニス/一般)

- ✓ コートの安定的確保が課題である。
- ✓ クラス毎の会員数の多少が課題である。
- ✓ 教室への参加需要はあるが時間帯やコーチとのマッチングが課題である。

【フィットネス】

(スタジオプログラム)

- ✓ 安定的な経営ができる人数には達していない。

(のびのびスポーツ広場)

- ✓ 幼稚園生が定員いっぱいとなった
- ✓ プログラムの中で鉄棒を望む声が多い

(太極拳)

- ✓ 2クラスに増加したが、人数は増えていない

(バレー)

- ✓ 卒業していく子どもがおり、人数がやや減少した
- ✓ 新しい会員の確保が、あまり進んでいない

【その他】

(魅力アップ事業)

- ✓ 夏休み工作教室などを実施し、子どもに好評であった

(浦和スポーツ塾)

- ✓ スポコミ及び指導者向けに安全講習会を開催した

(地域交流・拠点確保)

- ✓ 星空スポーツ広場の活動が当初とおりに戻った(2010年度に体育館が片面使用となり、他団体の受け入れについて、県と協議を重ねてきた)
- ✓ 卓球やバドミントンでは、中学校の部活の子どもたちが指導を受けにきている
- ✓ サッカーには、親子の参加がとても増えて、父親達の良い交流の場となっている

(県との協働)

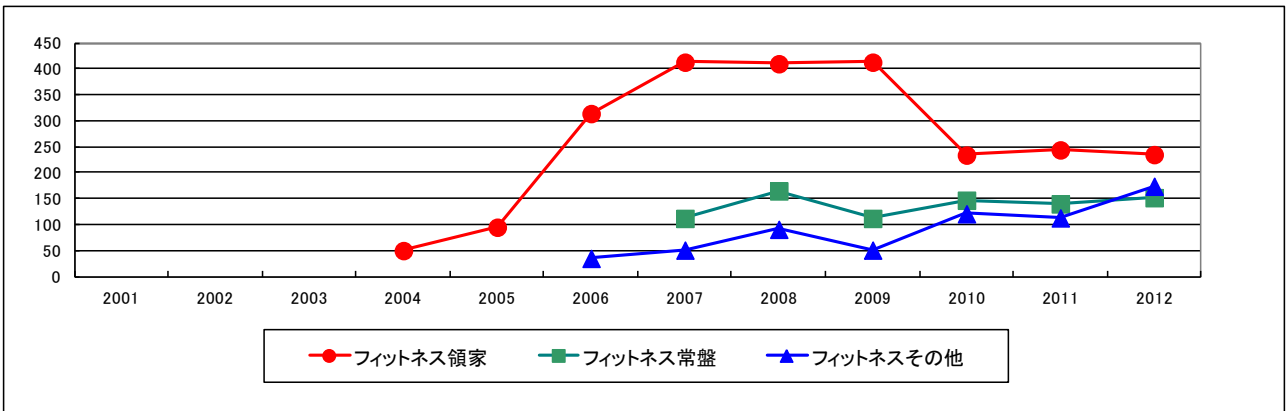
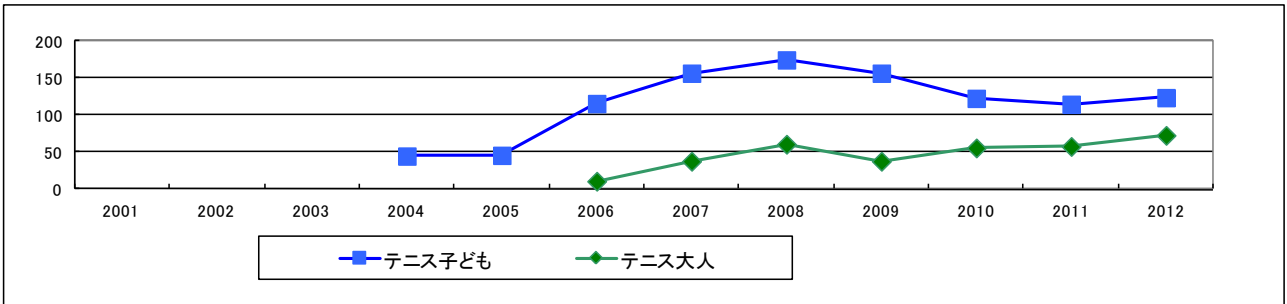
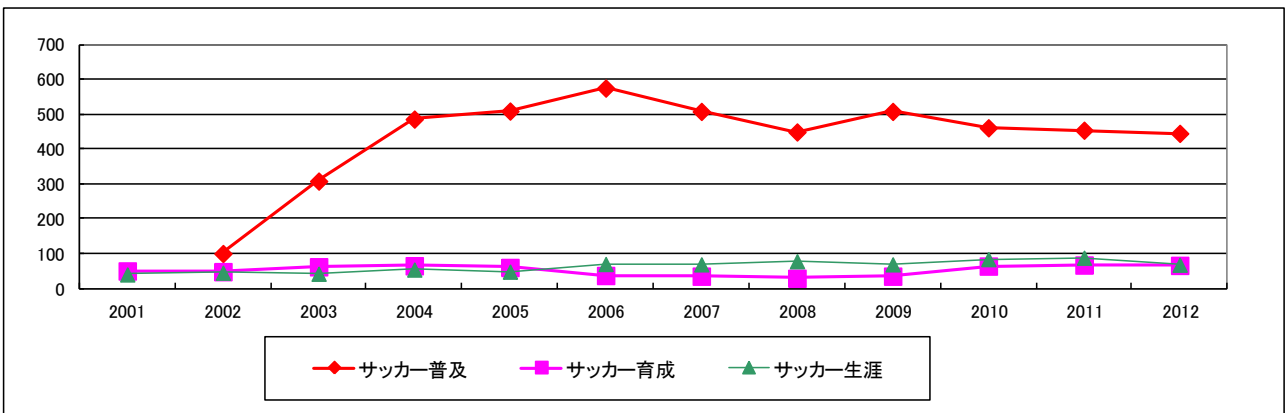
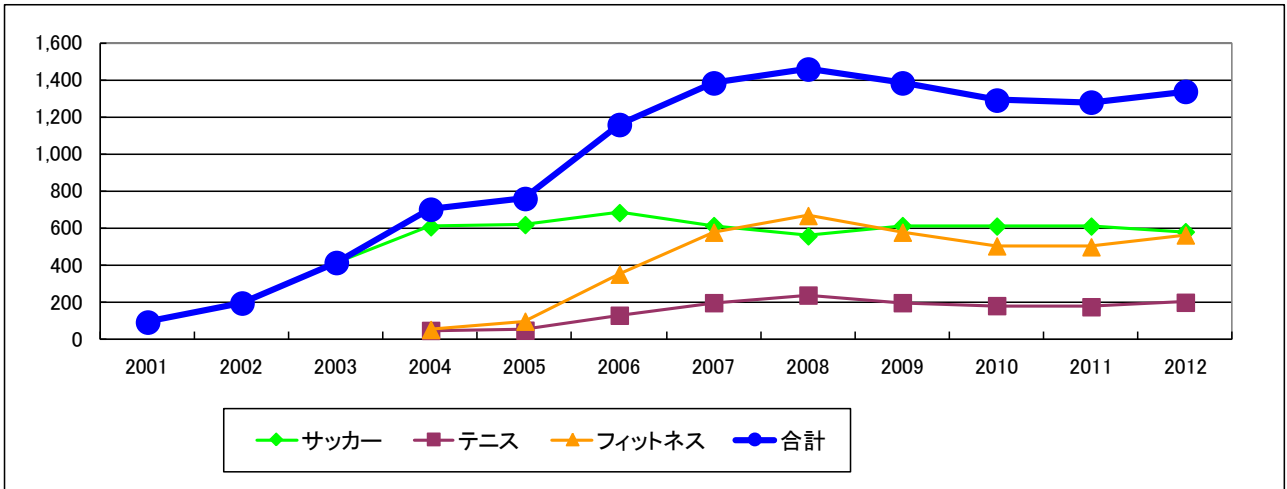
- ✓ 埼玉県地域スポーツクラブ連絡協議会に改称)

(市との協働)

- ✓ さいたま市総合型地域スポーツクラブ推進委員会に委員として参加した
- ✓ スポーツもできる多目的広場管理運営に関する研究会に委員派遣

参考/2006年~2011年のクラブ会員数(各年5月末)

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
サッカー普及		100	308	486	509	575	508	449	508	461	454	445
サッカー育成	50	48	62	65	60	37	35	29	35	64	67	66
サッカー生涯	40	45	42	54	48	70	69	78	69	84	88	68
テニス子ども				45	46	116	157	175	157	123	115	124
テニス大人						11	38	61	38	56	58	73
フィットネス領家				50	95	314	413	410	413	234	244	235
フィットネス常盤							112	165	112	147	140	152
フィットネスその他						35	51	91	51	121	113	174
サッカー	90	193	412	605	617	682	612	556	612	609	609	579
テニス				45	46	127	195	236	195	179	173	197
フィットネス				50	95	349	576	666	576	502	497	561
合計	90	193	412	700	758	1,158	1,383	1,458	1,383	1,290	1,279	1,337

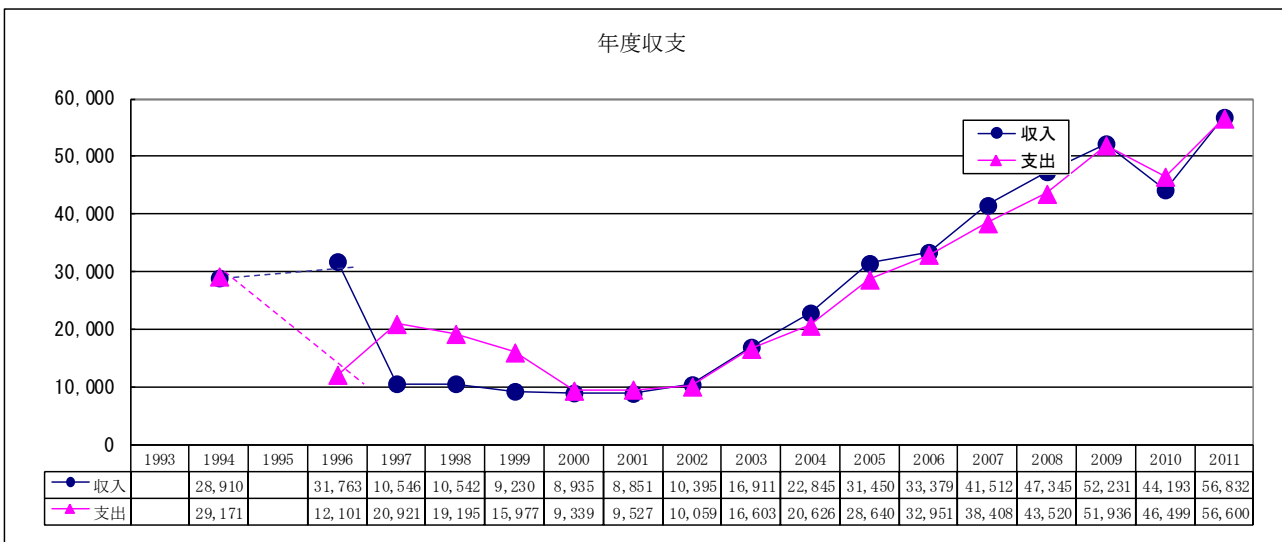


2. 2011 年度決算報告 (2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日) : 採決事項②

- 収入総額は約 5,683 万円となり、昨年よりも 1260 万ほど増加していますが、これは委託事業によるものです (文部科学省 922 万と厚生労働省 392 万 合計 1,314 万円)。
- 会費収入は、2010 年度 3,690 万に対し、2011 年度は 3,674 万とほぼ同程度でした。
- 委託費を除く収入でも予算よりも 250 万ほど多くなったのは、予算作成時点で震災影響による活動停止期間を大目に見込んでいたためです。
- 経常支出は約 5,660 万円でした。委託分を除くと、4,330 万となり予算よりも 230 万ほど多くなりました。主な支出増の原因は、活動が当初よりも多くなった分の事業費の増加です (収入増 250 万に対応)。
- 単年度の収支で 23 万円の黒字になりました。委託分を除くと収入の約 0.5% となります。
- 助成金 (toto) の交付期間が、2012 年度で終わる (クラブマネジャー助成のみ延長の可能性あり) ことから、今年度も引き続き、支出構造を見直すこと、会員の増加をはかり、会費収入を柱とした安定財源により各部門の黒字化を早期に達成しなければいけません。

(年度収支と過年度との比較)

年度	2011 年度			過年度				
	予算	決算 (右は委託費込)		2010	2009	2008	2007	2006
収入	41,075,000	43,580,445	56,831,667	44,193,061	52,230,623	47,344,612	41,511,461	33,378,885
支出	41,065,590	43,348,348	56,599,580	46,498,600	51,936,213	43,520,329	38,408,490	32,950,819
収支	9,410	232,097	232,097	-2,305,539	294,410	3,824,283	3,102,971	428,066
繰越	5,068,195	5,378,539	5,378,539	5,136,442	7,464,071	7,169,661	3,345,378	242,047



■ 年度収支の経年変化 (単位: 千円) ■

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

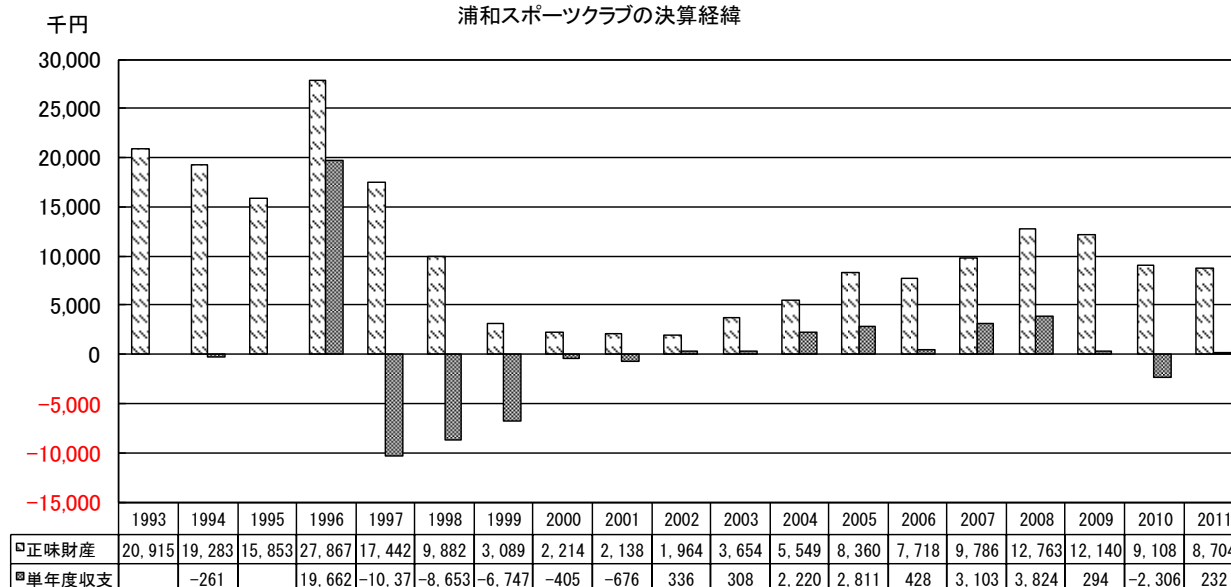
NPO法人浦和スポーツクラブ
全事業所

(単位：円)

2012年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		前受金	479,800
現金	112,708	未払金	3,216,850
普通預金	13,284,398	預り金	628,869
埼玉りそな	(4,122,646)	健康保険	(30,238)
郵貯ぱるる	(1,273,620)	厚生年金	(52,514)
郵貯振替口座	(7,714,410)	雇用保険	(106,384)
城北信用金庫1	(170,616)	源泉徴収	(311,933)
城北信用金庫2	(3,106)	クラブ義援金	(127,800)
現金・預金計	13,397,106	仮受金	7,507,228
(売上債権)		流動負債計	11,832,747
未収会費	329,300	負債の部合計	11,832,747
未収金	3,185,000	正味財産の部	
売上債権計	3,514,300	【正味財産】	
(その他流動資産)		正味財産	8,704,203
前払費用	289,880	(うち当期正味財産増加額)	△ 413,621
その他流動資産計	289,880	正味財産計	8,704,203
流動資産合計	17,201,286	正味財産の部合計	8,704,203
【固定資産】			
(有形固定資産)			
構築物	2,253,830		
車両運搬具	83,293		
什器備品	262,101		
有形固定資産計	2,599,224		
(無形固定資産)			
電話加入権	76,440		
無形固定資産計	76,440		
(投資その他の資産)			
保証金	10,000		
敷金	650,000		
投資その他の資産計	660,000		
固定資産合計	3,335,664		
資産の部合計	20,536,950	負債・正味財産の部合計	20,536,950

浦和スポーツクラブの決算経緯



年度

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

NPO法人浦和スポーツクラブ

(単位：円)

全事業所

2012年 3月31日 現在

《資産の部》		
【流動資産】		
(現金・預金)		
現金	112,708	
普通預金	13,284,398	
埼玉りそな	(4,122,646)	
郵貯ばるる	(1,273,620)	
郵貯振替口座	(7,714,410)	
城北信用金庫1	(170,616)	
城北信用金庫2	(3,106)	
現金・預金計	13,397,106	
(売上債権)		
未収会費	329,300	
未収金	3,185,000	
売上債権計	3,514,300	
(その他流動資産)		
前払費用	289,880	
その他流動資産計	289,880	
流動資産合計		17,201,286
【固定資産】		
(有形固定資産)		
構築物	2,253,830	
車両運搬具	83,293	
什器備品	262,101	
有形固定資産計	2,599,224	
(無形固定資産)		
電話加入権	76,440	
無形固定資産計	76,440	
(投資その他の資産)		
保証金	10,000	
敷金	650,000	
投資その他の資産計	660,000	
固定資産合計		3,335,664
資産の部合計		20,536,950
《負債の部》		
【流動負債】		
前受金	479,800	
未払金	3,216,850	
預り金	628,869	
健康保険	(30,238)	
厚生年金	(52,514)	
雇用保険	(106,384)	
源泉徴収	(311,933)	
クラブ義援金	(127,800)	
仮受金	7,507,228	
流動負債計		11,832,747
負債の部合計		11,832,747
正味財産		8,704,203

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

NPO法人浦和スポーツクラブ

(単位：円)

全事業所

自 2011年 4月 1日 至 2012年 3月31日


《経常収支の部》		
[経常収支の部]		
【経常収入】		
事業収入	36,737,597	
助成金収入	6,135,000	
委託金収入	13,142,232	
入会金収入	2,000	
正会員会費収入	90,000	
賛助会員会費収入	10,000	
その他事業収入	714,000	
受取利息収入	848	
経常収入 計		56,831,677
【事業費】		
諸謝金	36,844,548	
用具費	3,775,988	
会場費	3,227,690	
登録費	662,800	
保険料(事)	620,777	
外注費	244,335	
雑費(事)	1,058,007	
当期事業費 計	46,434,145	
合 計	46,434,145	
事業費 計		46,434,145
【管理費】		
給料 手当	1,200,800	
事務人件費(パート)	1,869,250	
法定福利費	1,200,465	
通信・運搬費	1,408,428	
水道光熱費	364,640	
会議費	26,861	
事務用消耗品費	321,870	
備品消耗品費	433,709	
印刷経費	191,100	
貸借料	1,413,000	
車両関連費	186,041	
保険料(管)	542,010	
諸会費	5,000	
慶弔費	7,499	
リース料	374,284	
支払手数料	511,950	
雑費(管)	108,528	
管理費 計		10,165,435
経常収支差額		232,097
[その他資金収支の部]		
【その他資金収入】		
その他資金収入 計		0
【その他資金支出】		
その他資金支出 計		0
当期収支差額		232,097
前期繰越収支差額		5,146,442
次期繰越収支差額		5,378,539
《正味財産増減の部》		
【正味財産増加の部】		
当期収支差額	232,097	
正味財産増加の部 計		232,097
【正味財産減少の部】		
構築物減価償却額	401,672	
車両運搬具減価償却額	24,428	
什器備品減価償却額	219,618	
正味財産減少の部 計		645,718
当期正味財産増加額		△ 413,621
前期繰越正味財産額		9,117,824
当期正味財産合計		8,704,203

監査報告書

平成 24 年 6 月 日

特定非営利活動法人 浦和スポーツクラブ
理事長 戸 莉 晴 彦 殿

監 事

監 事 柴 崎 栄 一 

特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 2011 年度の理事の業務執行状況、及び事業報告書、貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、並びに財産目録（以下、事業報告書等）について、監査を実施した。

監査の結果の意見は次のとおりである。

- (1) 理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。
- (2) 上記の事業報告書等が、特定非営利活動法人浦和スポーツクラブの平成 24 年 3 月 31 日現在の財産状況、及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

以 上

3. 2012年度事業計画（案）：採決事項③

（1）多目的広場等活動拠点の確保（継続）

スポーツクラブの良さを高めていき、クラブメンバーの交流、地域との交流を活性化するためには、拠点施設が必要なことが、国内外の事例や研究でも指摘されています。浦スポは、事務所とスタジオを賃貸で所有することができていますが、屋外スポーツやレクリエーションではこれを実現できていません。

昨年度は、見沼田んぼの公有地の活用に関する署名活動と要望書の提出（県、市）や、元町2丁目の児童相談所跡地の活用に関する要望書の提出（市）などの活動を行ってきました。

今年度も、引き続き、公共や民間の遊休地等を対象として、クラブが管理運営するスポーツもできる拠点の実現にむけて活動を展開します。

これらの拠点は、クラブでも利用しますが、地域の方々にも広く利用していただく機会を設けていくことを想定しています。

（2）被災地のクラブの仲間への継続的支援（継続）

被災地の復興には、長い年月がかかると考えられています。私たちは、同じ地域スポーツクラブの仲間を支援し続けることとします。

被災の影響が大きかった地域では、まだ、スポーツ活動もままならないクラブもあると聞いています。これから活動を再開するに際して、私たちの応援が、少しでも役にたつことを願っています。

具体的には、支援金や支援物資の調達、さらには、クラブ間の交流事業などをおして、無理なく長く続けられることを実施していきます。

（3）既存活動の充実・発展を図る

①クラブメンバーシップをはぐくむ

1) 会員による会員のためのクラブ

- 指導者もプレイヤーも、応援者もみんながクラブの会員として、クラブで活動していく組織としていきます。
- また、家族で参加しやすいクラブとなることを目指します。

2) 交流事業の実施

- 会員やその家族が、種目の壁を越えて参加し交流できる事業を実施します。

②サッカー

- 広場の会員増加とプログラムの充実をはかります
- U15、U18の指導体制を充実し、安定して継続できる活動にしていきます。
- 選手は、市民リーグ1部に昇格を目指します
- 生涯クラスの仲間を増やします。特に、親子でクラブに参加する会員の増加を図ります。
- スーパーシニア広場の会員増をはかります

③テニス

- テニス会員の増加を目指します。
- 多目的広場の管理者になり優先的に使用できるテニスコートを確保します。
- 市民大会に、浦和スポーツクラブとして参加します。
- 駒場体育館の自主事業等参加者に活動の継続を呼びかけ、プログラムへの参加を増やします。

④フィットネス

- 平均して1クラス17人(現在14.6人)を目標に会員の増加、確保を図ります。
- のびのびスポーツ広場の会員増加をはかります。

⑤その他

- シニア向け、子ども向けのプログラムの充実を図ります。
- 様々な専門知識を持った人材を活かし、各プログラムに+αを付け加えていきます。

(2) 地域のスポーツ振興に取り組む

①「第6回 キッズテニス大会inSAITAMA」の開催

第6回キッズテニス大会inSAITAMAの実行委員会の主管を努めます。

実施に際しては、大人のテニス会員や、キッズテニス会員の保護者の皆様にもご支援いただきたいと思います。

期日：2012年11月23日（祝）

場所：さいたま市立浦和駒場体育館

主催：キッズテニス大会inSAITAMA実行委員会

構成団体（予定） NPO法人浦和スポーツクラブ、鴻巣プレス

②文部科学省事業に基づく取り組み

地域の学校やクラブと連携して子どもたちを育てる拠点的なクラブとなれるよう努めます

③北浦和元気アップネットワークの活動展開

- ・地域包括支援センタースマイルハウスと協力し、ネットワークの
- ・

④その他

1) 駒場体育館の指定管理を活用し、各種プログラムを提案、企画、実施していきます

2) 地域部会を開催し、地域と連携した事業展開を図ります

→きた！Urawa フェスタ 2012 の実行委員会に加盟（文科省事業 地域課題解決にも位置づけ）、地域の各種団体や自治会との連携を進めます（5/20に実施済み）

3) 星空スポーツの充実を継続して開催するとともに、参加者のクラブへの理解を進めます

○スポーツプログラム (2012.4～)

部門	コース	概要
サッカー	広場	幼稚園生～小学6年生を対象に、サッカーで遊ぼうを合い言葉に、週1回1時間、ミニゲームを中心に活動。約500名が参加。
	スクール	小学校5年生を対象として、個人技術の習得を目的としたスクール。火曜日午後6時～北小。
	ユース	中学生 (U-15) : 個々の育成を図ることを目的とした活動。 高校生 (U-18) を再開。当面、水・土・日で活動
	選手	さいたま市浦和リーグ2部。 18歳以上の学生と社会人、約20名が参加。
	生涯	生涯スポーツとして楽しみながらサッカーを続けることを目的に活動。選手を目指さずに続けたい中学生や高校生も参加可。
	スーパーシニア 広場	60歳以上を対象。 木曜日サッカー広場の前の時間 (13時～15時頃) に実施。
テニス	キッズテニス	幼稚園年長～小学校中学年までを対象に、体育館で行うスポンジボールのテニス。4箇所で開催中。約120名が参加。
	インドアテニス	小学校高学年を対象として、キッズよりやや固めのボールで実施。本太、中尾、三室小の体育館でそれぞれ開催。約40名が参加。
	ジュニアテニス	小学校3年生以上を対象とした、屋外での本格的なテニス。平日夜のナイター練習。主に天沼テニスコート。
	(一般)	ジュニアテニスの送迎でこられる保護者の方を対象に、一般向けのクラスを開催。
	初級	初級者を対象に、初歩から丁寧に教える。市内各地のコート。
中級	中級者を対象に、市内各地のコートで開催。	
フィットネス	スタジオ プログラム	別表
	のびのびスポーツ 広場	様々なスポーツをとおして、総合的に運動能力を高める。 ■ 年中・年長クラス ■ 小学校低学年クラス ■ 小学校高学年クラス
	太極拳	主に高齢者を対象としたプログラム。楊明時太極拳。
	バレエ	和泉伽甫留バレエ教室との共同開催。幼稚園～小学生。
地域貢献	星空スポーツ広場	浦和高校グラウンド及び体育館をお借りして、広く参加できる場として運営 サッカー、バドミントン、卓球、バスケットボール。
	浦和スポーツ塾	各界のスペシャリストをお呼びし、会員、保護者、地域住民などに広く開いた講演会を実施。
	チャリティ	開発途上国へのスポーツ用品 (中古) の提供などを実施。これまで、ケニア、アフガニスタン等に寄贈。中古テニスボールの回収と学校への寄贈
	学び・遊び	工作教室や折り紙教室など、様々なプログラムを、地域のボランティアの皆さんとともに提供していきます。
	ふらっと広場	常盤スタジオの午後の時間を地域に開放 (主に子ども達)
被災地支援	子どものスポーツ支援プロジェクト スポーツ物資の支援等	
クラブライフ魅力アップ事業	クラブ会員が楽しみながら交流できる各種イベントや、各プログラムに+αを提供。	

2012年度スポーツプログラムと会費（予定）（定期プログラムのみ）

プログラム	対象	曜日	時間	月会費	活動場所	
サッカー	月曜広場	年中・年長	月	15時～16時	2,000円	駒場サブグラウンド 初回ネム入りシャツ代 3,000円
		小1・小2		16時～17時		
		小3・小4		17時～18時		
		小5・小6・女子		18時～19時		
	木曜広場	年中・年長	木	15時～16時	2,000円	年中・年長は 7・8月夏季休み
		小1・小2		16時～17時		
	スクール	小5・小6	火	18時～19時半	3,000円	北浦和小学校
	ユース	U-15	火水金土日の週5日	各2時間	7,000円	浦和高校・常盤北小他
U-18		水金土日の週4日	5,000円		市内グラウンド	
選手	18歳以上	土・日(祝)	各2時間	5,000円	浦和高校・市内グラウンド	
生涯	全ての年代				市内グラウンド	
スーパーシニア	60歳以上	木	13時～14時半	2,000円	駒場サブグラウンド	
テニス	駒場キッズ	小1～3	水	17時～18時	2,500円	駒場体育館
		小3・小4		18時～19時		
	駒場キッズ	年中・年長	木	15時～16時	2,500円	駒場体育館
		小1・小2		16時～17時		
	北小キッズ	小1～小3	火	18時～19時	2,500円	北浦和小体育館
	〃 インドア	小4以上		19時～20時		
	三室キッズ	小1～小3	火	17時～18時	2,500円	三室小体育館
		〃 インドア		小4以上		
	中尾キッズ	小1～小3	火	17時～18時	2,500円	中尾小体育館
		〃 インドア		小4以上	18時～19時半	
	本小インドア	小3・小4	木	17時半～19時	3,500円	本太小体育館
		小5・小6		19時～20時半		
硬式キッズ	小3以上	水	17時半～19時	4,000円	天沼テニス公園	
天沼ナイト	硬式キッズ保護者			親子6,000円		
初心者	成人男女	水・木・金	9時半～11時	3,000円	市営コート他	
		火	11時15分～12時45分			
		月	9時～10時半			
中級	成人男女	火	9時半～11時	4,000円	市営コート他	
		金	13時半～15時			
		月	9時～10時半			
スタジオ	各種 ヨガ	高校生以上の女性	時間割は、裏面をご確認ください。		1クラス2,000円 2クラス以上で 500円引き	領家スタジオ 常盤スタジオ
	ピラティス					
	ストレッチ&バレエ					
	フィットネス・フラ					
	各種エクササイズ					
	シニアYOGA	原則60歳以上女性	水	13時30分～14時20分	領家スタジオ	
	シニア筋トレ	60歳以上男女	木	9時～10時	領家スタジオ	
親子エクササイズ	親子(4歳以下)	火	10時20分～11時10分	2,500円	常盤スタジオ	
のびのびスポーツ広場	年中・年長	水	15時30分～16時30分	2,000円	駒場体育館	
		金	15時～16時			
		金	16時～17時			
太極拳	全ての年代	土	15時～16時	1,500円	南筥公民館他	
		木	14時～15時半	2,500円		
ルディック・ウォーキング	成人男女	木	14時～15時半	2,500円		
バレエ	幼児	金	15時半～16時20分	4,000円	領家スタジオ 発表会の参加必須	
	ジュニアⅠ	火・金	16時半～17時40分	4,500円		
	ジュニアⅡ	火	17時45分～19時	5,000円		

2012年のスタジオプログラム

∞ 領家スタジオ プログラム ∞					
	月	火	水	木	金
9:10 ↓	アロマYOGA	ストレッチ&バレエ	パワーYOGA	シニア筋トレ 9:00~	プラーナ(気) ヨガ
10:00					
10:20 ↓	アロマYOGA	スティラYOGA	フィットネス フラ	コーディネーション・ ピラティス	心と体に効く ヨガ (託児あり)
11:10					
11:30 ↓			アロマYOGA		ピラティス (託児あり)
12:20					
13:30 ↓	シニアの為のボ ディコンディショ ニング		シニアYOGA		
14:20					

∞ 常盤スタジオ プログラム ∞					
	月	火	水	木	金
9:10 ↓	ピラティス	ナチュラル・ボ ディ・ヨガ	休館日	ヨガ フィット	ピラティス
10:00					
10:20 ↓	フィットネス ヨガ	親子 エクササイズ		ボディコンディ ショニング	ゆっくりヨガ
11:10					
11:30 ↓				アロマYOGA	ボール エクササイズ
12:20					
13:30 ↓	一般開放	一般開放	一般開放	一般開放	
16:30					

4. 2012年度予算（案）（2012年4月1日～2013年3月31日）：採決事項④

2012年予算 文科省 委託事業抜き					
科 目		金 額			
I 収入の部					
1	会費、入会金収入				
	正会員会費収入	¥	125,000		
	〃 入会金収入	¥	-		
	賛助会員（個人）	¥	-		
	賛助会費（法人）	¥	100,000	¥	225,000
2	事業収入				
	サッカー事業	¥	17,096,000		
	フィットネス事業	¥	14,035,200		
	テニス事業	¥	5,963,500		
	地域事業	¥	180,000	¥	37,274,700
3	補助金等収入	¥	7,736,000	¥	7,736,000
4	雑収入	¥	50,000	¥	50,000
	当期収入合計（A）				¥ 45,285,700
	収入合計（B）				¥ 45,285,700
II 支出の部					
1	事業費				
	サッカー事業	¥	13,216,100		
	フィットネス事業	¥	11,212,200		
	テニス事業	¥	4,936,970		
	ふらっと広場運営事業	¥	1,743,600		
	地域事業	¥	887,000		
	保険料	¥	360,000		
	その他事業	¥	-	¥	32,355,870
2	管理費				
	人件費	¥	4,599,000		
	通信・役務費	¥	1,718,000		
	印刷・事務消耗品	¥	680,000		
	施設・車両費	¥	2,827,000		
	その他	¥	1,552,000	¥	11,376,000
3	予備費				
	当期支出合計（C）				¥ 43,731,870
	当期収支差額（A）－（C）				¥ 1,553,830
	次期繰越収支差額（B）－（C）				¥ 1,553,830

2012予算前年決算比較			
科 目	金 額		
	2012予算	2011予算	比較
I 収入の部			
1 会費、入会金収入			
正会員会費収入	¥ 125,000	¥ 125,000	¥ -
〃 入会金収入	¥ -	¥ 10,000	¥ -10,000
賛助会員（個人）	¥ -	¥ 50,000	¥ -50,000
賛助会費（法人）	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -
2 事業収入			
サッカー事業	¥ 17,096,000	¥ 16,956,000	¥ 140,000
フィットネス事業	¥ 14,035,200	¥ 12,172,000	¥ 1,863,200
テニス事業	¥ 5,963,500	¥ 5,317,000	¥ 646,500
地域支援事業	¥ 180,000	¥ 160,000	¥ 20,000
3 補助金収入等	¥ 7,736,000	¥ 6,135,000	¥ 1,601,000
4 雑収入等	¥ 50,000	¥ 50,000	¥ -
当期収入合計（A）	¥ 45,285,700	¥ 41,075,000	¥ 4,210,700
前期繰越残高	¥ 5,068,195	¥ 5,058,785	¥ 9,410
収入合計（B）	¥ 50,353,895	¥ 46,133,785	¥ 4,220,110
II 支出の部			
1 事業費			
サッカー事業	¥ 13,216,100	¥ 14,877,500	¥ -1,661,400
フィットネス事業	¥ 11,212,200	¥ 10,169,440	¥ 1,042,760
テニス事業	¥ 4,936,970	¥ 4,481,050	¥ 455,920
そのほか事業	¥ 2,990,600	¥ 2,975,600	¥ 15,000
2 管理費			
事務人件費	¥ 4,599,000	¥ 3,479,000	¥ 1,120,000
通信・役務費	¥ 1,718,000	¥ 1,718,000	¥ -
印刷・事務消耗品	¥ 680,000	¥ 620,000	¥ 60,000
施設・車両費	¥ 2,827,000	¥ 2,323,000	¥ 504,000
その他	¥ 1,552,000	¥ 422,000	¥ 1,130,000
当期支出合計（C）	¥ 43,731,870	¥ 41,065,590	¥ 2,666,280
経常収支差額（A）－（C）	¥ 1,553,830	¥ 9,410	¥ 1,544,420
その他支出（固定資産分）	¥ -	¥ -	¥ -
次期繰越収支差額（B）－（C）	¥ 6,622,025	¥ 5,068,195	¥ 1,553,830

■文科省委託事業予算

経費区分	積算内訳				経費予定額
	単価	回数等	回数等	回数等	
諸謝金					
トップアスリート					
卓球	10,000円/時	3時間/回	36回/期間	1人/回	1,080,000
陸上	10,000円/時	3時間/回	28回/期間	1人/回	840,000
テニス	10,000円/時	3時間/回	32回/期間	1人/回	960,000
アシスタントコーチ					
卓球	4,000円/時	3時間/回	36回/期間	1人/回	432,000
陸上	4,000円/時	3時間/回	28回/期間	1人/回	336,000
テニス	4,000円/時	3時間/回	32回/期間	1人/回	384,000
補助員					
卓球	1,800円/時	3時間/回	36回/期間	2人/回	388,800
陸上	1,800円/時	3時間/回	28回/期間	2人/回	302,400
テニス	1,800円/時	3時間/回	32回/期間	1人/回	172,800
コーディネーター					
派遣謝金	2,000円/時	10時間/週	32週/期間	10校	6,400,000
プロジェクトリーダー					
	10,000円/日	16日/月	12カ月		1,920,000
インストラクター、コーチ等					
①高齢者介護予防推進	4,000円/時	3時間/回	2人/回	10回	240,000
②苦手種目克服	10,000円/時	3時間/回	1人/回	2回	60,000
	2,000円/時	3時間/回	5人/回	2回	60,000
③地域大運動会	10,000円/時	3時間/回	1人/回	1回	30,000
④勉強会講師	10,000円/時	3時間/回	1人/回	2回	60,000
旅費（清算時は実費とする）					
トップアスリート派遣	1,040円/回	352回人			366,080
学校体育活動コーディネーター	1,040円/回	640回人			665,600
地域課題解決指導者	1,040円/回	20回人			20,800
講師	40,000円/回	2回人			80,000
プロジェクトリーダー各種機関調整	1,040円/回	20回人			20,800
					(講師以外の交通費は、クラブハウス～記念総合体育館往復1040円を基本として積算。清算は実
借損料					
スポーツ施設（駒場競技場）使用料	1,000円/回	44回			44,000
"（ナイター）使用料	10,000円/回	12回			120,000
スポーツ施設（体育館等）使用料	1,360円/回	30回			40,800
消耗品					
運動会用品					20,000
石灰					10,000
紙雷管					50,000
文具（マジック、模造紙等）					90,000
ハチマキ	90円/本	1,000本			8,400
バインダー	210円/枚	40枚			25,000
クリアフォルダー	25円/枚	1,000			16,000
コピー用紙	.8円/枚	20,000枚			30,000
封筒	15円/枚	2,000枚			
会議費					
通信運搬費					
	予定しない				
保険料					
クラブの一括契約で対応					
雑役務費					
筋厚測定	75,000円/回	1回			75,000
印刷費	14,000円/式	4式			56,000
					(1式当たりA4カラー両面 1,000部を学校、近隣自治会等に配布)
	50,000円/式	1式			50,000
					(1式当たりA4カラー 20000部を地域に配布)
一般管理費					
	上記経費×10%				1,545,448
再委託費					
	予定なし				
合計					16,999,928

5. そのほか

(1) 家族割引制度について

- 現在、同一会員の2種目目からは 月会費 500 円引きを実施しています
- これを同一家族であれば、同様の割引を適用することで 家族での参加を促進したいと考えます。
- 現状で試算すると、約 100 家族がこれに該当し、月 6 万円前後の減収となります
- 年間で 70～80 万円の減収は、影響が大きいことからすぐに導入することは難しい状況にあります
- クラブの活動主旨を踏まえると、家族での参加を促進したいことには変わりはなく、収益構造の改善が果たせた際には、制度の導入を進めることとしたいと思えます

(2) AED等について

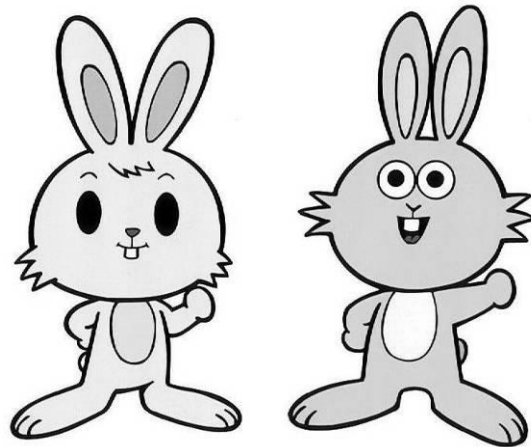
- リスクマネジメントの一環としてAEDの重要性が高まっています
- クラブでは、3年前からAEDを3台用意して、領家、常盤、移動用として備えています
- さらなる充実を図ることが望ましいのですが、現在の機器のリース期間が来年度まで続くことや、新規の負担が困難な財政状況を踏まえ、来年度のリースアップ時点で台数の見直しを図るとともに、このようなリスクマネジメントの充実に向けて、クラブの予算配分の見直しなどについて十分に話し合いながら導入していきたいと考えています。

(3) 収入・支出構造の改善について

- 今年度予算では、150 万円の黒字を見込んでいますが、toto の活動助成が今年度で終了することから、来年度は 360 万円の減収となります。
- 同様の支出を続けていると、200 万円を超える赤字となり、クラブは2年ほどでつぶれることとなります。
- これを防ぐためには、支出構造を見直すとともに、会員の増加をはかり収入を増やすことが大切なこととなります。会員増加も、新設のクラスを増やすだけでは、支出も増えることとなるため、改善効果は小さくなってしまいます。
- 現在、実施されているプログラムの会員数の増加を、指導者・会員が一緒になって実現していくことが最も必要なことと考えます。

*部門ごとの 直接支出/会費 係数 (共通経費を捻出するためには、現状の規模では0.7程度としたい)

サッカー	0.77 (昨年度 0.88)	→100 万円の削減か	20 名程度の増加 (広場では 40 名)
テニス	0.83 (昨年度 0.83)	→ 70 万円の削減か	キッズテニス 40 名 (1 クラス 3 名程度) 増加
フィットネス	0.80 (昨年度 0.84)	→140 万円の削減か	80 名の増加 (1 クラス平均 2～3 名程度) 増加



2012. 6. 10

NPO法人 浦和スポーツクラブ
(事務所) 〒330-0072 さいたま市浦和区領家4-5-6
電話 048-887-7140
FAX 048-679-1063
e-mail info@urawasc.org
HP-URL <http://www.urawasc.org>